

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	木曾学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】町田市木曾東3-11-3(忠生第三小学校敷地内) 【開設年月】1963年 【開所日時】月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】延床面積283.37㎡ 【建物構造】軽量鉄骨造 2階建て 【児童数】95名(2019年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-syakyo.or.jp/jigyo/j3-shokai.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	法人番号	2012305000201
指定管理者所在地	町田市原町田4-9-8		
指定期間	2015年4月1日～2020年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつを提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当	<input checked="" type="checkbox"/> 併用	<input type="checkbox"/> 非該当
	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募	<input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
様々な体験活動を行う	通年	バレーボール体験教室、高齢者のいきいきポイントの方の受け入れ、ボランティアや職場体験の受け入れ、新まちともの合同行事の実施、3R推進課イベントの実施、ネルソンマンデラ清掃活動(学校の周辺清掃活動)、ASVベスカドーラ町田によるフットサル教室、FC町田ゼルビアによるサッカー教室、認知症デイサービス「つながりの開」との交流などを行った。
職員の質の向上を図る	通年	常勤職員の研修参加、年間目標10回を達成。島田療育センターの研修に臨時職員も参加し質の向上を図った。
満足度調査回収率目標90%以上	通年	回収率91%達成、おたよりや保護者会等で提出のお願いをした結果、前年度よりも5ポイント回収率を増やすことが出来た。

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	利用者満足度調査について、昨年度から改善し、全体満足度では100%を達成するなど、質の高いサービスを提供していると判断できる。新たなまちともの連携に取り組んだことや、職員の情報共有の徹底、利用者アンケートで出た意見を反映し、運営を改善していたことが要因としてあげられる。また、職員の人材育成や研修受講支援について、積極的に取り組んでいたことは評価できる。その他の業務履行状況・財務状況は要求水準を満たす運営を行っており、全体的に良好な運営を行っている判断し総合評価を「A」とした。	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> ・本室、分室と分かれて保育をする中で支援員間で連絡等のミスがないように、毎日保育前に流れや分担の確認するミーティングを行い、連携強化を図った。また臨時職員とも連絡ノートで情報交換をし、定期的な職員会議も前年度より増やした。 ・子どもへの関わり方等に対して何度も支援員間で話し合い、子どもたちが主体的に楽しく過ごせるように工夫し保育を行った。 ・気になる子に対して保護者や学校と連絡を取りながら対応を行った ・新まちとも、町田ゼルビア、ベスカドーラ、バレーボール体験教室、3R推進課のイベント等の地域交流も大切にし、子どもたちに色々な経験や体験が出来るように努めた。その結果、子どもたちの生き生きとした表情が見られ、保護者からも喜ばれた。 ・新まちとものスタッフと連携を取りながら、毎日、子どもたちと安全に楽しく過ごせるように努めた。今年度も夏休みにクラブの合同レクリエーションを行い、新たに映画会も行った。来年度は合同避難訓練を行う予定で、一体的な運営につなげる。 ・今年度は、ゴーヤの栽培を行った。来年度はキュウリやミニトマトの栽培も行う予定で、食育に力を入れる。 ・法人として、更なる安心・安全な保育を目指して、学童保育クラブ障がい児保育事故防止対策マニュアルを策定した。 ・3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子どもたちへの手洗い、うがい、咳エチケット、マスクの着用等の指導や、室内の消毒、換気等の徹底を図り、法人内クラブで感染防止対策など情報共有を行いながら保育を行った。 	

【評価対象年度 2019年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2019年12月 【登録児童数】89名(調査月1日時点) 【配布枚数】80枚 【回答数】73枚 【回収率】91.3% 【調査方法】在籍児童の連絡帳等をととして配布、回収箱に投函・事務局へ郵送・連絡帳をととして提出
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	80%	100.0%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	96.0	99.0	99.0	95.0	100.0

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の6項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	80%	96.8%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	95.5	91.7	93.2	95.1	96.8

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	8回	13.0回	A	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	2	2	10	10	8
実績値		8.3	11.2	8.8	13.0

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度において100%を達成しており、非常に質の高いサービスを提供していると判断でき、次年度以降も同様な結果が望まれる。アンケート回収率は90%を超えており、利用者意見の聴取に積極的に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は10回を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	入会説明会の実施・入会のしおりを配布していた。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	お便りの配布、メール配信等を実施していた。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	実施報告書により、事業を適切に実施していることが確認できた。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	期日どおり適切に提出されていた。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	チェック表等により、適切に点検を実施していることが確認できた。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護に関する規定が整備されていた。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が適切に保管されていた。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開に関する規定が整備されていた。	適
要望対応	苦情対応体制の整備	苦情対応体制の構築	第三者委員が設置され、苦情対応の体制が構築されていた。	適
	苦情窓口の周知	意見・苦情を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が周知され、意見箱が設置されていた。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていた。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していた。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていた。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員を配置していた。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していた。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいた。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	管理運営経費の削減に取り組んでいた。	適
地元貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していた。	適
	市民雇用及び市内業者からの調達	町田市民の雇用又は市内業者からの調達	市民雇用、市内業者の利用に配慮していた。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

【評価対象年度 2019年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	2015		2016		2017		2018		2019		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	
収入	指定管理料	29,550	30,028	28,294	28,209	31,434	31,298	33,181	31,425	33,742	32,463
	特別育成料	249	362	358	426	430	368	343	479	467	448
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄附等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	29,799	30,390	28,652	28,635	31,864	31,666	33,524	31,904	34,209	32,911
支出	人件費	24,640	22,484	23,292	21,393	26,203	23,557	27,267	24,839	27,949	25,855
	管理費	509	388	580	488	652	464	670	359	580	448
	運営費	515	420	623	474	743	321	773	214	622	369
	精算する経費	2,070	2,015	2,070	2,017	2,070	2,151	2,083	2,173	2,288	2,268
	間接経費	2,065	2,045	2,087	1,854	2,196	2,052	2,731	2,329	2,770	2,770
	計	29,799	27,352	28,652	26,226	31,864	28,545	33,524	29,914	34,209	31,710
総計(収入-支出)	0	3,037	0	2,409	0	3,121	0	1,990	0	1,201	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業者の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2015	2016	2017	2018	2019
経常利益率	-7.6	2.2	4.6	4.7	3.0
負債比率	140.8	118.9	76.5	70.1	70.2

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる経費については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率、負債比率は適正な値であった。